

短大トピックス

地教教養学科 面接力向上ワークショップ

5月16日から6月20日までの遠隔授業期間が終わってやっと、対面だからこそ効果が上がる授業内容も取り入れることができるようになりました。「キャリアデザインII」という授業の中で行われる「面接力向上ワークショップ」もそのひとつで、学生たちにはお互いに受験生役と企業側役とを演じることで自分がどのように見えるのか、どのようにしたら好感を持ってもらえるか、相手に伝わる表現になるのかについてお互いに確認し合いました。上手くできたときに、企業側役の学生は拍手で受験生役の学生に「よかった」ということを伝えます。このような体験によって自分の持っている個性を生かした表現に気づいて今後に役立ててもらえたらと考えます。



生活科学科 栄養士課程 「とかちと食」

生活科学科栄養士課程では、「とかちと食Ⅰ～Ⅳ」として1年生から2年生の2年間で十勝の食イベントへの参加や企業との連携事業を行っています。「とかちと食Ⅲ」では、帯広市文化スポーツ振興財団との連携事業として平成26年度より健康と美容をテーマとした食事のレシピ「美活食」を栄養士課程2年生の学生が考案し、帯広市文化スポーツ振興財団のホームページで紹介しています。毎年「低糖質」、「美肌」などというテーマを決めて12か月分のレシピを考案しています。今年は「旬の食べ物で美活」としてレシピを作成しました。家庭でも簡単に作ることができ、また旬の食材を生かしたレシピを心がけて作成しています。多くの方に見ていただきたいと思います。



社会福祉科 子ども福祉専攻 社会福祉学特別演習Ⅱ（阿部ゼミ）

7月16日（金）に音更町の「放課後子ども教室」でボランティア活動を行いました。子どもと地域住民が交流し、自主性や社会性等を養うための「子どもの居場所づくり」を実施する事業で、今回は鈴蘭小学校の1年生から5年生の子どもたちと一緒に体育館で遊びました。ぬりえ、折り紙、輪投げ、フリスビー、バドミントン等自由に遊んだ後、ゼミで作成した「長い手」を使ってソーシャルディスタンスを保ってできる鬼ごっこを行いました。子どもたちも学生も体育館を全力で走り回って楽しむことができました。最後は「長い手」で握手をし、子どもたちからは、「楽しかった」「また来てね」などのメッセージをもらいました。今後のゼミ活動では、今回の活動を振り返り、「長い手」の改良等を行う予定です。



社会福祉科 介護福祉専攻 介護研究方法（正保・佐藤千恵ゼミ）

7月8日（木）、本学及び音更町社会福祉協議会との包括連携協定事業の一環として、音更町立駒場小学校5年生の「福祉の体験学習」を介護福祉専攻2年生7名（正保・佐藤ゼミ生）でサポートさせていただきました。内容は「車いす体験」ということで、小学生が車いすに触れることにより、これからの生活のなかで「自分に何ができるか」を考えるきっかけにしてもらえるよう取り組みました。学生はこの体験を通し、地域における介護福祉士の役割を考える機会となりました。

